

「九州防災・減災シンポジウムin遠賀川」の開催

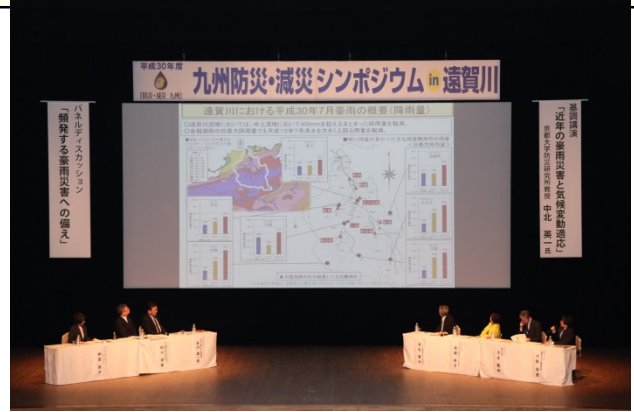
- 「いのちを守るために、今できること」として、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)を踏まえ、インフラの重要性やその効果を認識するとともに、ソフト対策により地域防災力を向上し、地域住民の確実な避難行動に繋げることをテーマにしたシンポジウムを平成31年1月24日に直方市で開催。
- 約700人が来場し、基調講演やパネルディスカッションを行うとともに、マイハザードマップづくりやマイ・タイムラインの作り方など、地域の防災・減災の取組を紹介。
- あわせて、地域住民に防災・減災に関心を持ってもらうために段ボールベットや簡易トイレなども紹介。



会場の状況(約700人が聴講)



京都大学中北氏による基調講演
「近年の豪雨災害と気候変動適応」



パネルディスカッション
「頻発する豪雨災害への備え」



会場でのパネル展の状況



マイハザードマップの展示状況



備蓄食のレシピ



段ボールベットの使い方説明